

# 第5学年-Unit9 単元名 Who is your hero? あこがれの人 (1/5時間)

## 1. 単元目標

- ・自分があこがれたり尊敬したりする人について、自分の意見を含めて紹介し合おうとする。  
(コミュニケーションへの意欲・関心・態度)
- ・第三者が得意なことを表す表現に慣れ親しむ。また、文字を読んだり書いたりすることに慣れ親しむ。  
(外国語への慣れ親しみ)
- ・英語と日本語では、書き方に違いがあることに気付く。  
(言語や文化に関する気付き)

## 2. 表現・言語材料

- Who is your hero? This is my hero. [He/ She] is good at (playing tennis). [He/She] is a good (tennis player).
- [He/ She] can (cook well). [He/She] is [kind/ cool/ great/ strong/ gentle/ active/ brave/ funny].
- hero, 状態・気持ち(active, cool, fantastic, friendly, gentle, kind, brave, strong, tough)

時間	児童の活動	指導者(T)の活動と使用英語例 ◎評価<方法>	準備物
5分	・挨拶をする ○Small Talk(人物紹介)	・全体に挨拶し、個別に数名の児童にも挨拶する。 ・ジェスチャーを使って内容を想像しながら、児童とやり取りをさせる。	写真
<p><b>Small Talk:話題 人物紹介(例)</b>            Look at this picture. This is my hero. He is Otani Shohei. He is a baseball player. He is twenty-three years old. He can play baseball. He is good at playing baseball. He is great and cool. He is my hero.</p> 			
8分	○Let's watch and Think ・デジタル教材を視聴し、分かったことを書く。	・視聴する前に、見開きページを見て、その絵に何があるかをWhat do you see in the picture?と問いかける。既習の語彙からdogやbookなどの単語レベルの答えも褒め、英語で答えを返せることに自信を持たせるようにする。  ・ここに出てくる表現はMy Heroの紹介の参考となるものであるので、1回だけの視聴でなく、複数回聞かせ、児童にスピーチのイメージを持たせる。	デジタル教材
7分	○Let's Chant:(p.67) ・チャンツを繰り返し聞いたり言ったりする。	・最初は音楽なしで、ゆっくりリピートしながら、リズムに乗って発音させる。その時にピクチャーカードなどを使って、内容理解を促す。 ・ジェスチャーを付けて楽しく歌わせる。	デジタル教材
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">得意なことを言う言い方に慣れよう。</div>			
20分	○Let's Listen1(p.68) ・音声を聞き、登場人物とその得意なことの絵を線で結ぶ。	・イラストを見ながら、やりとりの中で語句の確認を行う。swimming. I am good at swimming. Are you good at swimming?等のやりとりをしながら、be good at~ingの表現に慣れさせる。 ・児童の実態に応じて、先に予想を立てさせてもよい。 ・音声を聞かせ、線で結ばせる。 ・答えの確認をしながら、Satoshi is good at cooking.等の表現を言わせ、何度もbe good at~ingの表現に慣れさせる。 ・一通り表現に慣れてきたら、ワークシートにサトシ、ラクシュ、ジョンの得意なことを書いていく。その際、書かせるのはSatoshi is good at (イラスト).とするなどあまり負担が大きくなりすぎないようにする。児童の実態に応じて、1文だけ、なぞる等の配慮をする。  ◎第三者が得意なことを表す表現を言ったり聞いたりしている。また、文字を読んだり書いたりしている。(外国語への慣れ親しみ)<行動観察、誌面分析>	デジタル教材
5分	・本時の活動を振り返り、記入する。挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を評価する。 ・挨拶をする。	振り返りカード